



日七十月二十... 石城郡内郷村では来る二十日午後一時から村会を招集し十三年度後援の追加更生その他を決議する

内郷村の豫算追加更生の村会... 石城郡内郷村では来る二十日午後一時から村会を招集し十三年度後援の追加更生その他を決議する

戦地武運つたなきの便 後方勤務が残念 岡田 定次郎

念佛講中の献金... 石城郡赤井村の三念佛講中の一同が毎日の無駄を省いての献金を申合せ實行で得たる寶藤万蔵さん外九名の何れも祖父、祖母さん達が持寄る九圓二十錢を去る十五日國防費に献金した

平壯年團總會... 平市壯年團では今十七日午後七時から市内湯本無蓋樓上に本年年度の總會を開き内木博士から「刀剣と荒木又右工門」と題する講演がある多數の來聴を歓迎すると

飯野の部落常會... 石城郡飯野村の大字谷川湖部落常會は去る十五日午後一時開催二十二名の出席で振興委員會に於て決定せる各種事項の強調を申合せ後飯野同村農業技術を中心に経済貯蓄、肥料問題につき協議會を備し午後五時閉會す

第七回の事變國債 相變らず好消化

四日間に四萬八千九百圓

七萬一千四百圓の割當が

去る十三日から賣出された平郵便局の支那事變國債は割當總額七萬一千四百圓で額面別を上げると
十圓券一八〇枚(一八八〇圓)
廿五圓券廿枚(五百圓)
五十圓券三枚(一千五百圓)
十圓(百圓券六〇枚)六千圓
今回の賣出に於て局内者の購入は五十圓三枚、廿五圓三枚、十圓廿七枚の四百九十五圓及び貯蓄債券百三枚二百十五圓に對し昨十六日までの四日間を引受けてゐると

平局は縣下第一の 事變國債消化額

次は福島、若松、郡山の順

平局に於ける第七回事變國債の好消化は別項所報の如く、あるが仙台通信局管下の主なる局の第六回までの賣上げ高を上ぐれば何と云つても東北の大都市仙台が第一位で六十二萬三千四百五十五圓、第二は青森の廿九萬七千八百七十五圓

少年劍士の爭奪戦

明日平第三校に於て

十四校から七十名の選手

平市及び石城郡下各小學校見舞の第五回剣大會は明十八日午前九時から平第三小學校講堂に於て開催されるが優勝

積れば大きいもの

縣下で十二萬四百圓

銅屑其他の光物を合せて

戦時の歳末經濟調整機關としてある平市は生活の刷新と物産の節約、貯蓄實行等につき、廢物の廢止や浪費の戒め廢品の回收を此の際一層堅く努めて貯蓄報國に盡されるやう勸奨啓蒙されてゐるが針金の一片、釘一本、煙草の銀紙一枚でも積れば大きなもので廢棄される縣下の光物一ヶ月の蒐集高は實に十二萬三千六百圓

濱通の煙草の試作

豫期以上の好成績

反當取得最高二百十六圓

双葉郡下は通じて良果

郡山專賣局平出張所管内濱通の煙草試作は明年から本格的に行はれる筈で本年の試作を去る十日全部收購した其の總量は三二〇キログラム千七百五十五圓(面積一町九反歩)で本年の試作は播種時期が一ヶ月遅れたのと準備もまた充分でなかつた上に天候が好照多湿であるなど諸条件がよくなかつたのであるが豫期以上の成績を上げて反當百圓以上の收穫者相馬郡に五

何より恐い地震の話

(抄録) 半谷 生

今日では地震計の設けがあつて詳細に検べられますので我が國の地震の回数はずっと増加し東京では毎年平均六十二回の地震があると云はれますから五日と二十二時間毎に一發する割合であります、尙ほ之れを全國に見れば平均一ヶ年に凡そ六百五十一回と數えらるるので殆んど一日の中二回づつある割合になりまして實に地震の多い國ではあり

平壯年團總會

内木博士の講演

平市壯年團では今十七日午後七時から市内湯本無蓋樓上に本年年度の總會を開き内木博士から「刀剣と荒木又右工門」と題する講演がある多數の來聴を歓迎すると

細い生活から 千五百圓貯金

植田警務署勤務堀井藏二氏

植田警務署勤務堀井藏二氏は管下川部村に駐在同時警務署に雇ふ人夫及び木炭組合員を勤めて昭和十一年九月更生貯蓄組合を起し人夫は毎月収入の一割約二圓、木炭組合員に對しては堅硬なる地盤を選ぶこと尚ほ基礎を深く且つ堅くして其の建築の材料と構造等にも注意することです、地震のために地盤に龜裂を生じ其の類が泥土、水、瓦斯などの類が湧き出たり、又は土が陥没したり、家屋が倒れ、火事を起す等のことがあり、此の火災は實に直接の被害よりも悲惨を招くことが多いためであるから地震の時は勿論程度によるが煙や窓その他の火氣を消すこと、無暗に地震を恐がつて小さな

山町出身當年五十二才、本縣へは大正七年若松所の勤務から福島の所長となり縣土木課に入りて後富岡、喜多方所長に轉じた手跡家であると同村で近く堀井氏を表彰することにまつた

高島屋商店

農業の旗

凶作が力づける

新農業の旗

新農業の旗 [中]

縣立農業寮から
集立つた中堅で

寮長を初め各教師の號令の下に生徒一同が整列して拜禮
國新揚揚、勇壯な奏歌を合唱
して休養やまとはたき(き)の
後往復四キロの距離、爽快な
朝の農業實習をやつてから八
時炊事當番のつくだ一汁一
菜の朝食に寮長以下舌鼓を打
つて食へると今度は九時農業
實習(學科)に移る

正午食後二時まで書讀、
讀書、故郷への通信等が自
由に行はれ、

再び午後六時まで各班に分れ
て農業實習、開墾に従事、夕
食後午後七時半から一時間學
科をなし皇居遙拜後浴槽して
就寝、これが生徒の一日のメ
クデニールだ、

斯うして集立つた農村の中
堅は國に燃ゆる卒業生百三
十五名の大部分が富民協會主
催の東北農業革新研究会に参
加してゐる、

創立當時のバランツ建の寮
を中央に縣から與へられた
周圍三十八町歩に雜草繁茂
荒廢たる土地が僅か三年足
らずの内には水田四反、蔬菜
畑十八町歩、果樹園として
桃五反、梨四反、葡萄一反
李五反、梅五反、柿三反
櫻桃一反、柿五反、栗三反
合計三町九反歩を耕作され
寮舎も牛六頭、鶏三百羽、見
三十二頭、猪八頭、豚二
十八頭を飼育してこれ等か
ら金肥を發し排泄物がコン
クリートの堆肥舎に貯蔵さ

れる、

ツルヤ 電話一四〇〇

豐富陳列
漸新型

皇軍戰勝ニ冬品會の第一線に立つ

子供帽子 中折帽子

品名	原産地	備考
子供帽子
中折帽子

RESTAURANT MAJUTOMO

堂食モトルマ

電話 一三三

帝國海上火災保險株式會社

安田系統の帝國海上

平代理店 關内正一
事務所 阿部助次郎

債券公債兩替金融

多田井質店

平市大町 電話五九二番

根本産人科醫院

根本莊次郎

根本貞雄

電話三四番

大藏省主管

全國酒類品評會

最高首席優等賞受領

安達郡二本松町 太田七右衛門醸造

平病院 (平市元共濟病院跡)

院長 醫學博士 鈴木定藏

内兒科 院 長 鈴木定藏

副院 長 高橋俊幸

皮膚泌尿科 部 長 鈴木定藏

物理療法科 部 長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の限にあらざる)

診療科目

一、齒科一般
保存科、補綴科、矯正科、
齒列矯正科、小兒科、齒科診療科、
レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 堀谷伍郎
補綴部主任 佐藤重敏

日下家政婦會

經濟的御利用

身元確かで品行方正ですから
何をお任せしても安心です

平市町十八(西村屋横町)

會長 日下すい子
電話七二三番

新時代の要求

平看護婦會

電話三〇七

御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭

平市町 電話五一三番

高久病院

院長 醫學士 高久忠